多摩大学

Rapport（ラポール）とは、仏語で「信頼と親愛の絆」を表しています。
多摩大学広報誌「Rapport」は、多摩大学と多摩大学サポーターをつなぐ
コミュニケーション誌です。

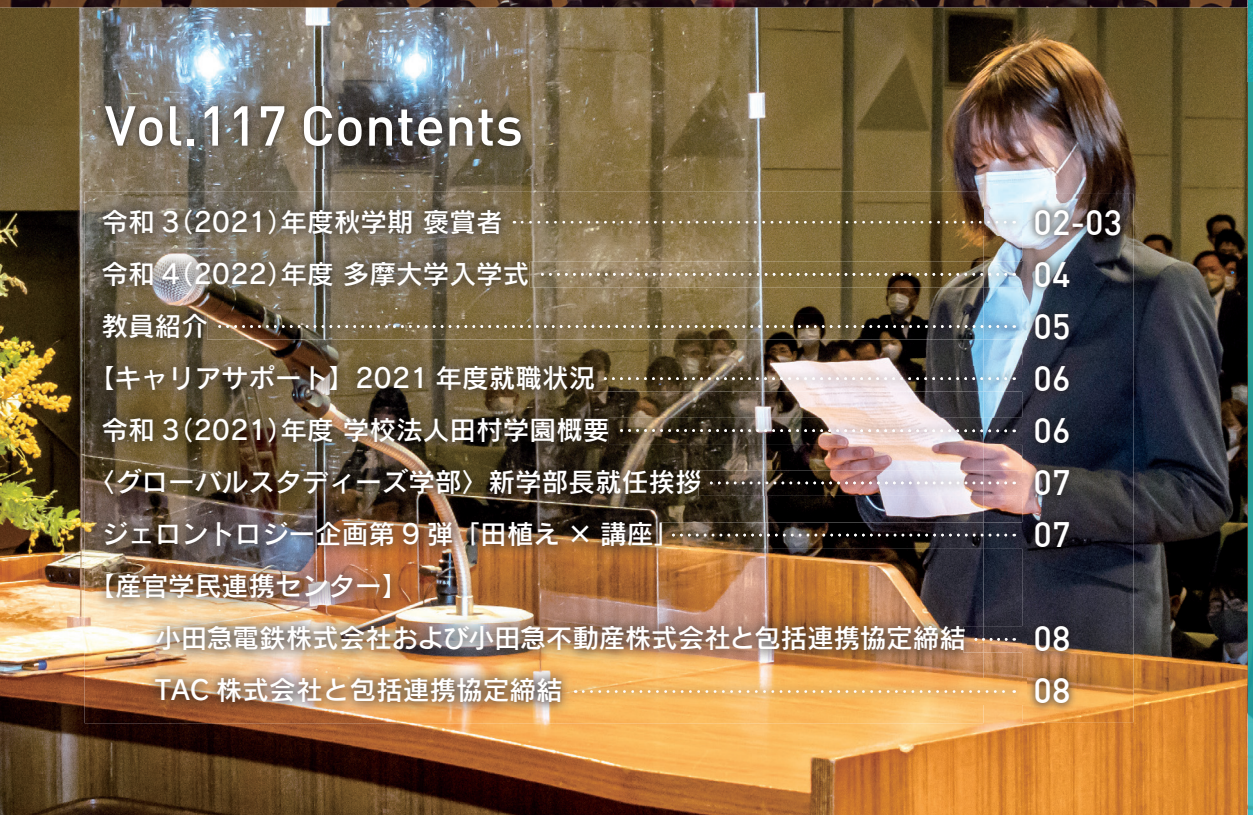
発行者／多摩大学　発行日／2022年6月30日
東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1　TEL：042-337-1111　FAX：042-337-7103
https://www.tama.ac.jp/

GERONTOLOGY
ジェロントロジーに取りくみ
大都市郊外型高齢化に
立ち向かう実践的研究

Rapport

2022 Number 117

多摩大学｜広報誌｜



Vol.117 Contents

令和3(2021)年度秋学期 褒賞者 …… 02-03
令和4(2022)年度 多摩大学入学式 …… 04
教員紹介 …… 05
【キャリアサポート】2021年度就職状況 …… 06
令和3(2021)年度 学校法人田村学園概要 …… 06
〈グローバルスタディーズ学部〉新学部長就任挨拶 …… 07
ジェロントロジー企画第9弾「田植え × 講座」 …… 07
【産官学民連携センター】
小田急電鉄株式会社および小田急不動産株式会社と包括連携協定締結 …… 08
TAC株式会社と包括連携協定締結 …… 08

2022年度 多摩大学入学式
（調布市グリーンホール）

令和 3（2021）年度秋学期 褒賞者

経営情報学部

【2021 年度 秋学期　優秀学生賞】

① 各講義科目において顕著に優れた成績を収めた学生　② 教育補助（SA）として著しい功績があった者
③ 成績向上が顕著な者（GPA の向上等を基準）　④ 学業に対する取組が真摯で他の模範となる者　◎印は、選出理由

科目名	◎	学生氏名
IT コミュニケーション入門	①	尾崎 真由子
IT コミュニケーション入門	①	杉山 慶恵
IT コミュニケーション入門	①	保坂 優斗
IT ビジネス入門	①	久冨 竜聖
IT ビジネス入門	①	降矢 悠太
アジア経済論 II	①	小泉 翔太
アジア経済論 II	①	西田 翔一
アドバンスド・ライティング・スキル	①	織田 一宏
アドバンスド・ライティング・スキル	①	佐藤 翔哉
English Expression II	①	新井 健太
English Expression II	①	加川 陽空
English Expression II	①	小谷 美琴
English Expression II	①	佐川 航太
English Expression II	①	松木 章悟
Web サービス開発	①	田中 千尋
Web デザイン II	①	佐野 有美
NPO・NGO 論	①	白石 しおり
NPO・NGO 論	①	根本 康平
韓国語 II	①	岩井 茜
韓国語 II	①	高橋 明香音
韓国経済論	①	田中 千尋
韓国経済論	①	中川 大樹
韓国経済論	①	町田 龍星
韓国ビジネスコミュニケーション II	①	大西 庸平
キャリア・デザイン II	①	王 旭森
キャリア・デザイン II	①	小松 優斗
キャリア・デザイン II	①	森 雅樹
キャリア・デザイン入門	①	新井 健太
キャリア・デザイン入門	①	大國 心桜
教育相談	①	小林 明日香
クリエイティブデザイン II	①	加藤 迅人
クリエイティブデザイン II	①	神谷 怜音
クリエイティブデザイン III	①	蜂谷 孔彬
グローバルビジネス入門	①	齊藤 夏美
グローバルヒストリー II	①	伊藤 響
グローバルヒストリー II	①	井上 文吾
グローバルヒストリー II	①	井上 保奈海
グローバルヒストリー II	①	榎本 大二
グローバルヒストリー II	①	奥津 湧貴
グローバルヒストリー II	①	落合 俊介
グローバルヒストリー II	①	河輪 拓樹
グローバルヒストリー II	①	公保 綾太
グローバルヒストリー II	①	小高 玲那
グローバルヒストリー II	①	小林 竜馬
グローバルヒストリー II	①	大國 心桜
グローバルヒストリー II	①	降矢 悠太
グローバルヒストリー II	①	松本 洋輝
経営思想史	①	田中 湖雪
経営思想史	①	馬場 啓介
経営情報論 II	①	尾崎 真由子
経営シミュレーションゲーム	①	奥津 湧貴
経営とセキュリティ	①	飯田 輝
経営分析	①	高島 力輝
原価計算	①	青柳 宇輝
現代メディア論	①	餘野 央果
国際ビジネス論	①	伊藤 依菜
国際ビジネス論	①	齊藤 奈々穂
コンピュータ概論	①	井上 保奈海
財務会計	①	溝尻 冴夏
産業社会特講(企業経営論、企業経営の現場を学ぶ)	①	中台 葵
産業社会特講(企業経営論、企業経営の現場を学ぶ)	①	丸山 将平
事業構想論 II	①	田中 温人
事業構想論 II	①	東良 紗里
事業デザイン論 II	①	前田 くるみ
社会心理	①	根本 康平
情報工学概論	①	小林 明日香
情報ネットワーク	①	萩原 大輝
情報倫理	①	山田 ゆい
消費心理	①	中川 皓太
初級簿記	①	小山 孝実
スポーツ I	①	徳田 唯香
スポーツ I	①	中村 修
スポーツと健康	①	田中 温人
スポーツ・マネジメント論	①	柳 りこ
多摩学 II	①	新井 健太
多摩学 II	①	小谷 美琴
多摩学 II	①	齊藤 夏美
多摩学 II	①	柴田 優吾
多摩学 II	①	大國 心桜
地域政策プランニング	①	農端 大和
地域政策プランニング	①	馬場 啓介

科目名	◎	学生氏名
地域ビジネス入門	①	徳田 唯香
中国語 II	①	井上 保奈海
中国語 II	①	星野 萌寧
中国ビジネスコミュニケーション II	①	田中 彩佳
中国ビジネスコミュニケーション II	①	丁志成
データサイエンス II	①	尾崎 真由子
データベース II	①	尾崎 真由子
TOEIC II	①	川端 将暉
TOEIC II	①	藤原 由翔
TOEIC II	①	溝尻 冴夏
特別講座 II	①	青柳 宇輝
日本語講座中級 II	①	楊 柳青
日本語講座上級	①	李 シン
ビジネス数学 II	①	尾崎 真由子
ビジネス数学 II	①	渡邉 朋花
ビジネススキル入門	①	新井 健太
ビジネススキル入門	①	齊藤 夏美
ビジネススキル入門	①	佐川 航太
ビジネススキル入門	①	武田 葵
ビジネススキル入門	①	細井 幹太
ビジネススキル入門	①	楊 柳青
ビジネス法	①	藤原 由翔
ビッグデータ活用法	①	小林 明日香
Practical English Conversation I	①	田中 湖雪
Practical English Conversation II	①	川端 将暉
Practical English Conversation II	①	中川 皓太
プログラミング入門 III	①	佐藤 翔哉
Basic Office English II	①	川端 将暉
ベンチャー企業論	①	田中 湖雪
法学（憲法）	①	大谷 奨
マクロ経済学	①	柴田 優吾
マーケティング・データ分析	①	尾崎 真由子
マーケティングマネジメント論	①	天野 真一朗
余暇マネジメント	①	新井 健太
余暇マネジメント	①	倉林 さくら
余暇マネジメント	①	小山 孝実
余暇マネジメント	①	齊藤 夏美
ライティング・スキル	①	佐川 航太
ライティング・スキル	①	佐々口 珠莉
ライフ・デザイン	①	倉林 さくら
ロシア経済論	①	濱 大貴
Web デザイン II	②	津田 真結花
キャリア・デザイン II C	②	伊東 真由
クリエイティブデザイン II A	②	濱 大貴
クリエイティブデザイン II B	②	濱 大貴
経営とセキュリティ	②	伊東 真由
情報ネットワーク	②	餘野 央果
スポーツと健康	②	徳永 賢人
中国語 II X	②	佐藤 哲大
中国ビジネスコミュニケーション II	②	田中 千尋
データベース II	②	石原 滉大
ビジネススキル入門 X09-X12	②	農端 大和
ビジネススキル入門 Y09-Y12	②	伊東 真由
プレゼミ II	②	大島 隼人
プレゼミ II	②	倉林 さくら
プレゼミ II	②	佐久間 心
プレゼミ II	②	嶋村 遥紀
プレゼミ II	②	菅原 侑士
プレゼミ II	②	徳永 賢人
プレゼミ II	②	濱 大貴
プレゼミ II	②	藤原 由翔
プレゼミ II	②	餘野 央果
プレゼミ II	②	渡辺 直樹
Basic Office English II	②	西川 仁
法学（憲法）	②	長田 華山
マーケティング・データ分析	②	河内 颯斗
マーケティング・データ分析	②	細川 拓海
ライフ・デザイン	②	徳永 賢人
彩藤 ひろみ（担当教員）	③	長田 華山
石川 晴子（担当教員）	④	川端 将暉
大澤 拓也（担当教員）	④	徳田 唯香
齋藤 S. 裕美（担当教員）	④	柳萬 真伸
崎濱 栄治（担当教員）	④	中台　葵
高橋 恭寛（担当教員）	④	今平 竣也
TIJ 東京日本語研修所（担当教員）	④	ソクデット ダビン
TIJ 東京日本語研修所（担当教員）	④	趙 彦明
田園（担当教員）	④	大串 慶斗
田園（担当教員）	④	長田 華山
福角 有紘（担当教員）	④	菅原 現生
良峯 徳和（担当教員）	④	佐藤 哲大

※科目名 50 音順

【2021 年度　最優秀学生賞】 大学在学中 4 年間を通じて総合的に最も優秀な成績を収めた者及び本学学生として模範的行為のあった者

磯部 直樹・白井 ほのか・長田 侑大・味蓼 恵月・光瀬 千翔・村田 月夜　※ 氏名 50 音順

【2021 年度　社会・研究活動賞】

① コンテスト等において優秀な成果をおさめた者または団体　② 課外活動で全国大会に出場する等顕著な成績をおさめた者または団体
③ 在籍期間を通じて学生会等の活動にて特に貢献のあった者　④ 優れた研究成果又は論文を発表した者または団体　◎印は、選出理由

学生氏名・団体名	◎	内　　容
出原ゼミ「Music Playing Dandelions」チーム	①	Laval Virtual Revolution 展示採択
梅澤ゼミ「世代間交流八王子駅前サロン」プロジェクト	①	公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩主催 第 7 回「多摩の学生まちづくり・ものづくりコンペティション 2021」奨励賞受賞
多摩大学体育会スキー部　冨高 日向子	②	北京 2022 冬季オリンピック フリースタイルスキー・モーグル日本代表 FIS ワールドカップ 2021-2022
多摩大学体育会フットサル部	②	第 17 回全日本大学フットサル大会東京都大会優勝、関東大会優勝
伊東 真由	③	学修サービス「Tama Lien」活動への貢献
菅原 侑士	③	学修サービス「Tama Lien」活動への貢献
梅澤佳子ホームゼミナール	③	公益社団法人「小さな親切」運動本部「小さな親切実行章」受賞
多摩祭実行委員会	③	2021 年度オンライン学園祭企画運営
尾崎 真由子	④	日本バーチャルリアリティ学会全国大会ポスター展示
菅原 侑士	④	八王子市政策研究誌「まちづくり研究はちおうじ」論文投稿
藤田 朱夏	④	インターゼミ DX 班：遠隔医療に関する優れた研究
インターゼミ サービス・エンターテインメント班	④	医療や防災の観点からコンビニ業界の今後の在り方について研究調査を実施し、研究論文を「コンビニエンスストアの新たな経済・社会的役割　～暮らしの一部から必要不可欠な存在へ～」（118 頁・6 万字）を完成。
彩藤ゼミ バーチャル高尾山チーム	④	第 13 回大学コンソーシアム八王子学生発表会観光セッション特別賞
インターゼミ アジアダイナミズム班	④	過去の東アジア世界における保護貿易と自由貿易の鬩ぎ合いの現場を調査し現代社会へ繋がる示唆を得るとともに、幾度もの口頭発表を行ったうえで長大な研究論文を完成させた。

【2021 年度　学長賞・学部長賞】

学長賞：多摩大学体育会スキー部　冨高 日向子
学部長賞：多摩大学体育会フットサル部、梅澤ゼミ「世代間交流八王子駅前サロン」プロジェクト、出原ゼミ「Music Playing Dandelions」チーム

2021 年度秋学期 成績優秀者奨学金奨学生

学業及び成績が優秀で人物及び健康ともに優れ、他の規範となる学生に対して、多摩大学奨学金規程に基づき審査を経て区分に応じた奨学金を支給しています。

●経営情報学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
大國　心桜

・区分 2

学生氏名
新井　健太
伊藤　響
井上　保奈海
大串　慶斗
大谷　奨
落合　俊介
河輪　拓樹
草刈　三結
小山　孝実
齊藤　夏美
佐川　航太
柴田　優吾
清水　千伶那
田中　俊太
鳥居　完太
中堤　真
林　宏昌
ヨウ リュウチン

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
尾崎　真由子

・区分 2

学生氏名
青柳　宇輝
天野　由梨
池田　賢吾
織田　一宏
加藤　迅人
栗本　海地
齋藤　桃花
櫻井　宏樹
田中　温人
中川　皓太
中台　葵
中村　優貴
農端　大和
馬場　啓介
廣野　祐太
丸山　将平
溝尻　冴夏
山田　ゆい
米澤　珠巳

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名
田中　千尋

・区分 2

学生氏名
厚母　春花
阿部　龍向
飯島　颯悟
石垣　義弘
石川　光一
伊豆　隆磨
井上　澪夏
今井　茉那
内田　慎吾
江成　竜哉
川端　将暉
小泉　翔太
小林　明日香
齊藤　奈々穂
佐々口　珠莉
進藤　丈也
染谷　直希
濱　大貴
水野　誠也

●グローバルスタディーズ学部

■ 1 年次

・区分 1

学生氏名
髙田　晴高

・区分 2

学生氏名
石井　羽留
小瀧　倫之
片山　美紅
加藤　真弓
川口　真依
川波　堅
川本　将史
倉島　舞
佐武　綾乃

■ 2 年次

・区分 1

学生氏名
福島　愛海

・区分 2

学生氏名
石川　音和
大高　恵梨佳
大髙　ももな
ｷｬﾉﾝ ｼﾞｬｽﾐﾝ 心
佐々木　悠舞
佐野　磨李
上甲　遥
パク ジュンジェ
世安　爽愛

■ 3 年次

・区分 1

学生氏名

・区分 2

学生氏名
石田　聖里奈
内田　璃紀
小山田　桜
久保田　眞司
下川　真依
菅原　日向
パク ファ ウォン
宮野　伊織
横山　紗弓

※氏名 50 音順
※学年は 2021 年度のものとなります

「自分のテーマを見つけ、深く物事を考えるきっかけをつかんでほしい」

2022 年 4 月 5 日（火）、調布市グリーンホール 大ホールにて「2022 年度多摩大学入学式」を挙行しました。今年度の新入生は、経営情報学部 405 名（編入者 3 名）、グローバルスタディーズ学部 159 名（編入者 2 名）、計 564 名です。

寺島実郎学長は、「多摩大学の個性とは何か。一つは実学志向の大学であること。社会で活躍してきた人たちが教壇に立ち、社会の現場で実際に役立つ学問を身につける機会を提供する場であること。もう一つはゼミ中心の大学であること。手づくり感のある人間教育を誇り、小規模大学だからこそ、コロナ禍でも対面授業中心で 2 年間を乗り切ることができた。今年 4 月から成年年齢が 18 歳となります。成人となった皆さんは、大人として自分の行動に責任を持たなければならない。本当の大人とは何か。大人として認知される条件は、自分の力で生きていける『経済的自立』と、自分自身を客観的に見ることができる『精神的自立』である。自分とは何かを問い続ける中で、何をなすべきか自分の頭で考える力を身につけてほしい。自分のテーマを見つけ、深く物事を考えるきっかけをつかんでもらいたい。100 歳人生といわれる中で、じっくりと力をつけていくための準備期間としての 4 年間である。友人とコミュニケーションを深め、先生と向き合い、楽しんで人生設計を考えてください」と新入生を祝福しました。

学校法人田村学園 田村嘉浩理事長は、「両学部とも高い志を持ち、実社会で活躍できる人材の育成を大きな目標としています。それぞれの志を見つけ、実社会の中で実現できる力をつけてほしい。学生生活を有意義なものとするために大切なことを二つアドバイスします。一つ目は、自分の頭でとことん考える習慣を身につけること。二つ目は、今日できることは明日に延ばさないこと。自分の力を信じ、目いっぱいやり切ることが大事。4 年間という限られた期間の中でやらなければならないこと、今だからこそできることをしっかりやり切って、悔いのない学生生活を過ごしてください。過去は変えられないが、未来はいくらでも変えられます。4 年後、高い志のもと実社会で活躍できる人材として本学を卒業することを願っています。これから始まる大学生活が夢と希望とともに輝けるものとなりますよう祈っています」とエールを送りました。続いて来賓として登壇された多摩信用金庫 八木敏郎理事長は、「大学時代は人生の中で最も大切な時間。日々なすべきことを問い、自身の成長を実感できる充実した大学生活を送られることをお祈りします」と祝辞を述べました。

また、新入生代表として経営情報学部の中村佳鈴（なかむらかりん）さんは、商業高校在学中に商業の知識を深めようと様々な資格を取得。「仲間と支え合い、サポートしてくれる先生方と自らの夢と目標に向かって日々精進していきたい」。グローバルスタディーズ学部の石田原千咲（いしだはらちさ）さんは、高校時代はソフトテニス部に所属し県総体団体戦で準優勝。「将来は地元の観光分野に貢献するため、インバウンドやホスピタリティ、観光について学び、コミュニケーション能力も高めていきたい」。それぞれ大学生活への抱負と期待を述べました。

学園歌は感染症予防のため着席のまま静聴し、壇上者の退場後、閉会となりました。

式終了後、経営情報学部は大ホール、グローバルスタディーズ学部は小ホールにて、保護者向け説明会を行いました。保護者の皆様には、学部長挨拶と教員紹介、学生生活、教育方針と授業、就職実績とキャリア支援体制、留学などについて説明しました。

調布市グリーンホールで行われた式典の様子

寺島実郎学長

田村嘉浩理事長

新入生代表による挨拶

経営情報学部 保護者説明会

グローバルスタディーズ学部 保護者説明会

【経営情報学部】

人の思いを推定する情報通信技術

あらゆる場面で情報通信技術が用いられる今日、私たちは様々な場面で情報を受け取り、同時に、情報を発しています。また、各種デバイスの発達によって、これまでは情報として扱うことが難しかったものもデータとして記録できるようになっています。このようなデータを計測・収集したうえで機械学習を適用し、コンテンツやサービスに対するユーザの反応や印象を推定する手法を検討しています。

ただ見聞きするのではなく、自分自身で考え実践することで、知識や技能はより深く使えるものとして身についていきます。本学のスタッフはバラエティに富んでいて、いろいろな実践の場が提供されています。この環境を活かし、幅広く学んでほしいと思います。

菅沼 睦
(スガヌマ ムツミ)
准教授

〈プロフィール〉
東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了、同博士課程単位取得満期退学。博士（心理学）。早稲田大学国際情報通信研究センター助手、同・助教、早稲田大学大学院国際情報通信研究科講師などを経て現職。

社会をデジタル化する DX

私は IT 企業で、アプリケーションからネットワークまで、開発・導入から運用・保守まで、それらの活動におけるコンプライアンスの推進、さらにはデジタル トランスフォーメーション（DX）の推進と、そのための AI（特に深層学習による自然言語処理）の応用についての調査・企画を行ってきました。その経験から言えることは、DX が今後社会で益々重要になり、社会人として避けては通れないものになるということです。IT 関連の授業で DX の中心的存在である IT について、基礎的な知識を習得し、更に DX を構想するアイデアの出発点となる、最新の応用事例にも触れて DX 的感性を磨いてほしいと思います。

千ヶ崎 清孝
(チガサキ キヨタカ)
准教授

〈プロフィール〉
東京理科大学理工学部経営工学科卒業。専攻は多変量解析。三井情報株式会社にて、業務アプリケーションの設計開発、および運用保守、企業内・企業間の IT システムインテグレーション、ネットワークインフラへのセキュリティ導入、システムの運用保守に関する品質管理・コンプライアンス活動、IT ビジネスへの AI の適用に関する調査・企画などを担当。2022 年度より現職。

未来では「当たり前」の商品やサービスの実現

パソコンやスマホだけでなく、クルマや家電にもコンピュータが搭載され、企業活動や日常生活において情報通信技術 (ICT) は欠かせないものになっています。一方で、これらを使う時にかえって不便さを感じることはありませんか。私は企業の研究所で「人間が主役」と考え、ICT を使いやすく、生産性を上げ、より良い生活を実現するためにはどうすれば良いかを研究してきました。授業では、まず ICT を使いこなすための学習を通して、その特性を学びます。そして、人々のニーズを調査し、課題を解決するためのプロトタイプを ICT の知識を活かして開発します。実際に使い勝手を試して修正しながら、未来では「当たり前」の商品やサービスの実現を目指します。

新西 誠人
(シンニシ マコト)
専任講師

〈プロフィール〉
多摩大学経営情報学部経営情報学科卒。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程修了、修士（政策・メディア）。東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科博士後期課程修了、博士（技術経営）。NTT サイバースペース研究所、リコー研究開発本部、リコー経済社会研究所などを経て 2022 年 4 月より現職。

データにもとづいて心を科学する

私は社会心理学を専門としています。「心理学」と聞いたとき、カウンセリングや心の病気を思い浮かべる方も多いかもしれませんが、それは心理学で扱うトピックのごく一部です。社会心理学では、社会の中で生きる人々の行動に注目し、その背後にある心の働きを探求しています。心という目に見えないものを科学的な手法で研究するためには、ヒトの行動についてデータを集め、統計的な処理をおこない、そこにどんな心の働きが表れているのかを読み取る必要があります。授業では、データ分析手法を学び、それを実践することで、物事を適切にデータ化し、分析結果が何を意味するのかを読み解く力を養います。

田中 友理
(タナカ ユリ)
専任講師

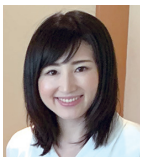
〈プロフィール〉
明治学院大学心理学部心理学科卒業後、名古屋大学大学院環境学研究科社会環境学専攻博士前期課程に進学し、修士（心理学）を取得。同大学院情報学研究科心理・認知科学専攻博士後期課程単位取得満期退学後、2022 年より現職。

【グローバルスタディーズ学部】

学校教育を法的視点から見つめてみる

私の専門は教育学で、教育法制度、教育行政の研究をしています。教育紛争・教育裁判の事例から、学校・教員、保護者、地域住民の関係について「法」というプリズムを通した分析を行っています。専門領域に最も近い科目としては、「教育制度論」という授業を担当します。教育制度は毎年のように変わっていきますので、授業ではニュースで取り上げられるトピックスを扱いながら、教育制度を身近な問題として捉えることができるような授業展開を目指していきたいと思います。教職を志す学生のみなさんを全力でサポートし、多摩大学から、教育界に一人でも多くの人材を輩出することを目指して努めていく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

山田 知代
(ヤマダ トモヨ)
准教授



〈プロフィール〉
日本女子大学大学院 家政学研究科 生活経済専攻 修了「修士（家政学）」。筑波大学大学院 博士後期課程 人間総合科学研究科 教育基礎学専攻 博士課程単位取得満期退学。開智国際大学、帝京科学大学等を経て、2022 年 4 月より現職。

観光について、グローバルな視点とホスピタリティを学ぶ

私の専門は、核問題と広島・長崎の戦後復興史です。近年、外国人観光客が選ぶ日本の観光地のランキングでは、広島平和記念資料館が第 1 位となっています。また、核問題はまさにグローバルな喫緊の問題です。広島・長崎の観光を通して、学生たちと共にグローバルとホスピタリティについて学んでいきます。

多摩大学は、教員と学生の距離が近く、教員と学生が共に手作りで学問を作り上げております。また、本大学には、非常に人懐っこく元気な学生が多く、自ら学んで成長したいという思いを強く持っています。このような学生一人ひとりと丁寧に向き合い、「やる気」を伸ばすために全力で教育に取り組む所存です。

桐谷 多恵子
(キリヤ タエコ)
専任講師

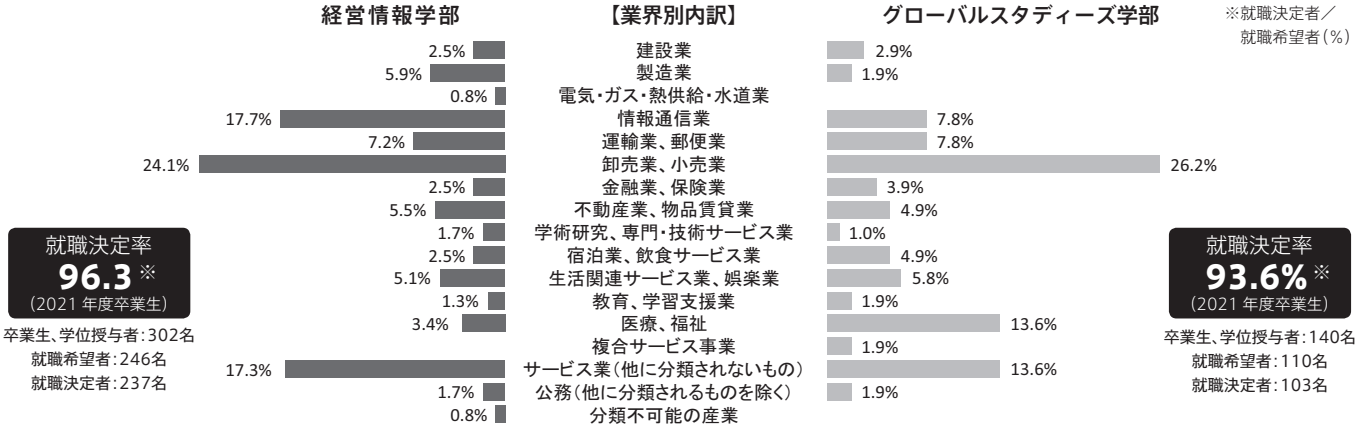
〈プロフィール〉
法政大学国際文化学部卒業、広島市立大学大学院国際学研究科博士前期課程修了、法政大学大学院国際文化研究科博士後期課程修了、博士（国際文化）。日本学術振興会特別研究員、法政大学大学院で非常勤講師を経て、2010 年 4 月より 2016 年 3 月まで広島市立大学・広島平和研究所の専任講師として勤務。2016 年 4 月より現在まで長崎大学・核兵器廃絶研究センター客員研究員。2017 年 4 月より法政大学、東京医療学院大学、多摩大学にて非常勤講師を経て、2022 年 4 月より多摩大学グローバルスタディーズ学部の専任講師。

キャリアサポート

多摩大学キャリア支援課では、学生一人一人にきめ細やかなサポートを行っています。経営情報学部ではゼミ担当教員とキャリア支援課職員が常に情報を共有しながら、各学生の個性に合った指導をしています。定期的に就職に関する父母懇親会を開催し、ご家族にも就職活動へのご理解をいただくことで、就職活動に取り組みやすい環境を整えています。また、グローバルスタディーズ学部では、就職委員会とキャリア支援課が連携し少人数制の特性を生かした就職支援を行っています。正課インターンシップ等の低学年次からのキャリア科目を通じ早期の就業観、労働観の醸成を図り、3 年次以降は就職活動本番を見据えたキャリア支援講座等の充実したプログラムによる支援に繋げ、学生をサポートします。

2021 年度 就職状況

※ 2022 年 5 月 1 日現在



【主な就職先】（50 音順）

〈経営情報学部〉 イオンリテール㈱、㈱エヌデーデー、岡三証券㈱、㈱小野測器、神奈川県警、㈱木下の介護、警視庁、コーナン商事㈱、コナミ HD ㈱、相模鉄道㈱、全国農業協同組合連合会山梨県本部、多摩信用金庫、中栄信用金庫、㈱ DTS、㈱東急ストア、東洋証券㈱、㈱トランスコスモス、成田運輸㈱、日本通運㈱、羽田空港サービス㈱、フェデラルエクスプレス合同会社、武陽ガス㈱、三菱マテリアルトレーディング㈱、㈱ローズ ホテルズ・インターナショナル

〈グローバルスタディーズ学部〉 アパホテル㈱、㈱一家ダイニングプロジェクト、㈱エイジェック、㈱オーブンハウス・アーキテクト、かながわ西湘農業協同組合、カンダホールディングス㈱、くら寿司㈱、KOYO 証券㈱、さがみ農業協同組合、㈱サンケイビルウェルケア、㈱ＣＩＪ、㈱四季リゾーツ、住友生命保険相互会社、ダイワボウ情報システム㈱、㈱ 鶴見製作所、㈱電業社機械製作所、東海澱粉㈱、東京海上日動ベターライフサービス㈱、㈱東計電算、日本生命保険相互会社、㈱長谷エライブネット、藤沢エフエム放送㈱（レディオ湘南）、富士ソフト㈱、㈱ベネッセスタイルケア、㈱丸運、㈱丸和運輸機関、三菱地所パークス㈱、横浜市教育委員会（中学英語科教員）、ライクスタッフィング㈱、㈱琉球銀行、㈱琉球ホテルリゾートオクマ、レイズネクスト㈱、渡辺パイプ㈱

■ 令和 3（2021）年度 学校法人田村学園概要

多摩大学の経営母体である学校法人田村学園は、私立学校として積極的に情報開示をしております。最新の田村学園概要は、以下のとおりです。

〔学校法人 田村学園　貸借対照表〕

貸　借　対　照　表

令和 4 年 3 月 31 日（令和 3 年度）

（単位：百万円）

資産の部			
科　　目	前年度末	本年度末	増　　減
固定資産	24,459	24,544	85
有形 固定 資産	20,504	20,356	△ 148
土　　地	13,015	12,996	△ 19
建　　物	6,517	6,242	△ 275
そ　の　他	972	1,118	146
特定資産	2,292	2,392	100
第 2 号基本金引当特定資産	2,200	2,300	100
第 3 号基本金引当特定資産	92	92	0
その他の固定資産	1,663	1,796	133
電話加入権	5	5	0
そ　の　他	1,658	1,791	133
流動資産	5,403	5,874	471
現 金 預 金	4,896	5,605	709
そ　の　他	507	269	△ 238
資産の部合計	29,862	30,418	556
負債の部			
科　　目	前年度末	本年度末	増　減
固定負債	463	487	24
長 期 借 入 金	1	1	0
退職給与引当金	462	486	24
流動負債	1,580	1,603	23
短 期 借 入 金	1	1	0
前　受　金	913	930	17
そ　の　他	666	672	6
負債の部合計	2,043	2,090	47
純資産の部			
科　　目	前年度末	本年度末	増　減
基本金	34,169	34,410	241
第 1 号　基本金	31,525	31,666	141
第 2 号　基本金	2,200	2,300	100
第 3 号　基本金	92	92	0
第 4 号　基本金	352	352	0
繰越収支差額	△ 6,350	△ 6,082	268
翌年度繰越収支差額	△ 6,350	△ 6,082	268
純資産の部合計	27,819	28,328	509
負債及び純資産の部合計	29,862	30,418	556

〔令和 3（2021）年度　学校法人 田村学園　計算書類　抜粋〕

〔資金収支〕

（資金収入）　（単位：百万円）

学生生徒等納付金収入	3,916
手数料収入	99
寄付金収入	63
補助金収入	1,231
資産売却収入	244
付随事業・収益事業収入	167
受取利息・配当金収入	46
雑収入	76
その他	82
前年度繰越支払資金	4,896
合計	10,820

（資金支出）

人件費支出	3,000
教育研究経費支出	1,239
管理経費支出	454
借入金等利息支出	0
施設関係支出	152
設備関係支出	136
その他	234
翌年度繰越支払資金	5,605
合計	10,820

〔事業活動収支〕

（単位：百万円）

教育活動収支	学生生徒等納付金	3,916
	手数料	99
	寄付金	62
	経常費等補助金	1,222
	付随事業収入	167
	雑収入	78
	教育活動収入 合計	**5,544**
	人件費	3,024
	教育研究経費	1,630
	管理経費	490
	その他	7
	教育活動支出合計	**5,151**
	教育活動収支差額	393
教育活動外の収支	教育活動外収入	45
	教育活動外支出	0
	教育活動外収支差額	45
経常収支差額		**438**
特別収支	特別収入	71
	特別支出	1
	特別収支差額	70
基本金組入前当年度収支差額		**508**
基本金組入額		△ 241
当年度収支差額		267
前年度繰越収支差額		△ 6,349
基本金取崩額		0
翌年度繰越収支差額		△ 6,082

（参考）

事業活動収入　合計	**5,660**
事業活動支出　合計	**5,152**

（令和 4（2022）年度）

・学生・生徒等（人）

田村学園全体	4,711
多摩大学　学部	
経営情報学部	1,519
グローバルスタディーズ学部	636
多摩大学　大学院	131
高校（2）・中学（2）・幼稚園（3）	2,425

・キャンパス面積（㎡）

田村学園全体	115,932
多摩大学	44,913
その他	77,019

以上、令和 4（2022）年 5 月 1 日　現在

〈グローバルスタディーズ学部〉

新美 潤 教授　新学部長 就任メッセージ

グローバルスタディーズ学部
学部長・教授　新美 潤

2022 年 4 月、グローバルスタディーズ学部学部長に新美（にいみ） 潤（じゅん） 教授が新たに就任いたしました。
今後とも本学の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【新学部長挨拶】

ラポールにて初めてご挨拶させて頂きます。私はこの 4 月にグローバルスタディーズ学部の学部長に就任いたしました、新美と申します。どうぞよろしくお願い致します。

初めに自己紹介させて頂くと、私は多摩大学の教員になる前は、約 40 年間、外務省に勤務しておりました。勤務の半分は海外、半分は国内で、海外では英国、スイス、ケニア、フランス、イラン、ロシア、タイ、米国、ポルトガルの 9 か国に在勤し、米国ではロサンゼルス総領事、ポルトガルでは大使を務めさせて頂きました。国内では外務本省の他、警察庁、経済産業省、国会事務局への出向も経験しております。多摩大学には一昨年の 4 月から勤務し、グローバルスタディーズ学部（略称 SGS）で「国際政治」、「国際法と国際機関」を担当しております。

SGS は、英語教育、少人数教育、国際交流、地元地域への貢献活動等が特色の学部です。2 年間勤めてきて、学生同士、並びに学生と教員の距離が非常に近く、アットホームな雰囲気であることに強い印象を受けました。数百人の学生が大教室でマイクを使った講義を受講した私の学生時代と、対局の観があります。

こうした SGS の特色は大切にしたく、私はこれを更に伸ばし、広く世に知って頂くよう努めたいと思います。そして、グローバル化の進んだ現代社会でたくましく生きていける人材を育てることを、目指して参ります。グローバル化の進んだ今の世の中、世界のどこで起きた事案でも必ず日本、或いは私達自身の生活に影響を及ぼします。こうした世界の動きを把握し、その影響と対応について自らの頭で考察する力は、ホスピタリティ・マネジメントコース、国際教養コース、教職課程、何れの課程から就職するにしても、必ず必要となります。こうした観点から、私自身の授業でも、学生たちにロシアのウクライナ侵攻が日本に与える影響について解説したり、日本の非核三原則と米国の核の傘に依存する安全保障政策の関係についてどう考えるか、自分の意見をレポートにまとめさせる等しております。

今後共学部長として、多摩大学、SGS の発展に微力を尽くして参りますので、ご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

ジェロントロジー企画第 9 弾

山梨県南アルプス市で「田植え体験×講座」を 3 年ぶりに実施

2022年5月8日(日)、「多摩大学 寺島実郎監修リレー講座」の受講者を対象に、農業体験を通してリタイア後の世代が新たな社会参画を考える企画として、山梨県南アルプス市と連携した「田植え体験×講座」を、コロナ禍以降では初めて、3 年ぶりに実施しました。

当日は天候にも恵まれ、南アルプス市の富士山と甲府盆地を一望できる棚田にて、26 名の参加者が「田植え」体験に取り組みました。膝元まで達する深い水田の中で、泥に足を取られながらかがんだ姿勢を維持し、後退しながら稲を１列に植える作業は思ったよりも難しく、一般参加者、教職員、学生の皆さんでなんとか苗を植え終わり、農作業の大変さと楽しさを体験することができました。田植えの後は、南アルプス市の食材を使った「ふるさと弁当」を皆で美味しくいただき、その後は「やまなみの湯」に移動し、入浴や地元物産品の買物を楽しみました。

さらに会場を旧回春堂医院に移し、南アルプス市教育委員会文化財課、NPO 法人森の劇場のご協力により、旧回春堂医院の施設紹介と「鎌倉殿を支えた甲斐源氏」と題した講座を受講。現在テレビ放映中で話題の大河ドラマの時代背景と歴史を振り返りました。南アルプス市は、甲斐源氏と呼ばれる源氏の一流が拠点とした「源氏の里」であったこと、なぜこの地で甲斐源氏が活躍したのかなど、講師の方々が迫真の演技を交えながらその背景を丁寧に説明してくださり、学びの多い時間となりました。

3 年ぶりとなるジェロントロジー企画は、第一次産業に触れることにより、生産活動へ携わることができる貴重な経験となりました。秋には今回植えた稲の刈り取りを実施する予定です。

田植えの様子

集合写真　※撮影時のみマスクを外しています

講座「鎌倉殿を支えた甲斐源氏」

小田急電鉄株式会社・小田急不動産株式会社と多摩大学

小田急電鉄株式会社および小田急不動産株式会社と包括連携協定を締結

多摩大学は、小田急グループの小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区、社長：星野 晃司氏）および小田急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：五十嵐 秀氏）と 2022 年 4 月 14 日（木）に、「連携協力に関する包括協定」を締結しました。

本協定は、多摩大学と小田急グループが、社会や地域の持続的な発展を目指して、相互が持つ人的資源と知的資産を活用した教育・研究、社会課題の解決や、社会貢献活動を通じたより一層の連携協力を推進するものとして締結したものです。

〈多摩大学と小田急電鉄株式会社および小田急不動産株式会社との包括連携の主旨〉

以下の事項について連携して取り組んでまいります。

（1）小田急沿線の地域のまちづくりやくらしに関する拠点機能の創設・運営

（2）小田急沿線における産学連携に関するシンポジウム等の情報発信

（3）多摩大学の実施する授業や講演等での連携

また今回締結式にご出席いただいた小田急電鉄㈱ 星野社長、小田急不動産㈱ 五十嵐社長ならびに関係者の皆様を、締結式終了後にキャンパスツアーへご案内しました。学生がガイド役となり、本学体育会フットサル部の練習風景をアリーナにてご覧いただき、学生食堂、教員ラウンジ、図書館、歴史未来館などを見学。本学の創立からの歴史や学生生活について学生目線の声を聞いていただき、多摩大学の魅力をお伝えしました。

左から小田急電鉄㈱ 星野晃司社長、寺島実郎学長、小田急不動産㈱ 五十嵐秀社長

会場の様子

協定締結式

キャンパスツアー

TAC 株式会社と多摩大学

TAC 株式会社と包括連携協定を締結

2022 年 3 月 9 日（水）、多摩大学は本学多摩キャンパスにて TAC 株式会社（本社:東京都千代田区、代表取締役:多田敏男氏）と「包括連携に関する協定書」の調印式を行いました。今後、相互に連携を強化することで地域経済の発展と地域社会の課題解決を図ります。

本協定は、地域の産業振興、中小企業や金融機関の経営革新に貢献することを目的として、地域社会の魅力度向上や課題解決に資する連携事業、地域社会の企業・個人・団体等の課題解決に資する連携事業、地域社会及び企業・団体等に関する共同研究等について産学連携の取り組みをより一層推進するものとして締結いたしました。

〈多摩大学と TAC 株式会社との包括連携の主旨〉

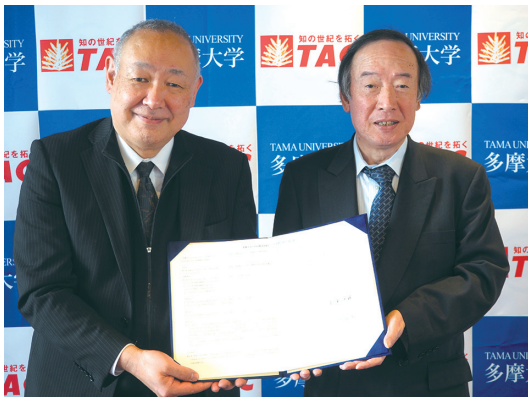
以下の事項について連携して取り組んでまいります。

①中小企業と地域金融機関の人材育成に関すること

②中小企業と地域金融機関の経営に関すること

③産学官民連携による地域活性化に関すること

今後の展開については、社会人教育に力を入れている多摩大学と、1980 年の創立以来プロフェッショナル人材の養成に取り組んできた TAC 株式会社が包括連携協定を締結することで地域の金融機関とも協業し、地域の中小企業に対して“次世代の「本業」を生み出せる人材”を育てる「次世代事業開発人材育成プログラム」の開講を見据え、相互に連携して地域の魅力向上や課題解決に取り組んでまいります。



左から杉田文章副学長、TAC ㈱ 多田敏男代表取締役

Rapport No.117
発行：多摩大学　〒 206-0022　東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1　TEL:042-337-1111　FAX:042-337-7103
E-mail：rapport@gr.tama.ac.jp　URL：https://www.tama.ac.jp
制作・印刷：株式会社 インフォテック　発行日：2022 年 6 月 30 日